

竹ノ塚駅付近鉄道高架化促進連絡協議会ニュース

竹ノ塚駅付近鉄道高架化促進連絡協議会 平成18年2月28日発行
事務局 足立区 都市整備部 立体化担当 電話 3880-5484

第1号

竹ノ塚駅付近鉄道高架化促進連絡協議会が発足しました



協議会会長に就任し、挨拶する鈴木区長（中央）と来賓者（右）及び役員（左）
壇上に積上げてあるのは、216,993名の署名簿

平成17年9月30日に竹の塚地域学習センターホールで約320名の方々の参加を得て竹ノ塚駅付近鉄道高架化促進連絡協議会の結成大会を開催しました。この協議会は竹ノ塚駅鉄道高架化早期実現の会（区民）、足立区議会鉄道高架化促進議員連盟（議会）及び足立区の三者が一体となって、竹ノ塚駅付近の鉄道高架化に向けて活動するために結成したものです。

当日は、壇上に鉄道高架化を求める216,993名の署名簿が積み、事故で亡くなった2名の方に黙祷を捧げた後、協議会役員を選出し、活動方針等を決議しました。

今後さらに構成員を拡大しながら、竹ノ塚駅付近の鉄道高架化の早期実現を目指して活動していきます。

〈協議会役員〉

会 長 鈴木 恒年（足立区長）
副会長 古庄 孝夫（湊江町会自治会連合会長）
高橋 清（伊興地区町会自治会連絡協議会長）
白石 正輝（足立区議会鉄道高架化促進議員連盟会長）

〈協議会の活動方針〉

協議会は、東武伊勢崎線竹ノ塚駅付近の鉄道高架化による踏切の解消及び駅東西の一体的なまちづくりの促進をめざし、国、東京都及び鉄道事業者等関係機関への要請、区民への広報その他必要な活動を行う。

国土交通省、東京都及び鉄道事業者に対し要望活動を行いました

平成17年11月30日、東京都庁を訪ね、要望活動を行いました。持参した署名簿を前に、鈴木会長から東京都の横山副知事に要望書を手渡し、竹ノ塚駅付近の高架化早期実現に向けた支援をお願いしました。

副知事は、「都としても技術的な支援を積極的に進めていく。」と述べました。協議会側からは技術面に加え財政面においても支援を求め、要望活動を終了しました。

東京都への要請に続き、12月20日に国土交通省を訪ね、竹ノ塚駅付近鉄道高架化の早期実現に向けた支援を要請しました。高架化を求める署名が、21万6千名余に達したことを伝えるとともに、会長である鈴木区長から北側国土交通大臣に要望書を手渡しました。席上、会長から、連続立体交差事業採択要件の拡充及び18年度連続立体交差事業調査費の採択をお願いしました。

北側大臣からは「立体化には時間も費用もかかる。事業の仕組みも含めて、しっかり検討してください。国も早期実現できるようがんばります。」などの話がありました。

なお、同日午後18年度の政府予算原案の発表があり、連続立体交差事業採択要件の拡充が盛り込まれました。(4頁参照)

平成18年2月7日、東武鉄道株式会社本社を訪ね、要望活動を行いました。持参した署名簿を前に、鈴木会長から東武鉄道株式会社鉄道事業本部手塚工務部長に要望書を手渡し、竹ノ塚駅付近の高架化早期実現に向け、来年度予定している連続立体交差事業調査をはじめ鉄道事業者としての技術的調査検討などの支援をお願いしました。

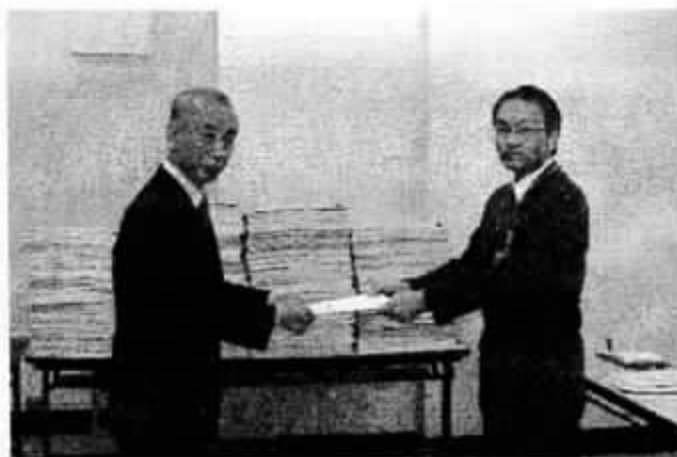
また、2月15日には東京地下鉄株式会社本社を訪ね、要望活動を行いました。



216,996名の署名簿の前で横山東京都副知事(左)に要望書を手渡す鈴木会長



北側国土交通大臣(右)に要望書を手渡す鈴木会長



216,996名の署名簿の前で東武鉄道の手塚工務部長に要望書を手渡す鈴木会長

国土交通省に提出した要望書の内容

(写)

東武伊勢崎線竹ノ塚駅付近の鉄道高架化早期実現に関する要望書

国土交通省におかれましては、去る平成 17 年 3 月 15 日の東武伊勢崎線竹ノ塚駅構内第 37 号踏切における死傷事故発生後、緊急対策の決定及び抜本対策である道路と鉄道の立体化に関する検討会への参画など、迅速かつ積極的なご支援、ご指導を頂き厚く御礼申し上げます。

お陰様をもちまして、四つの緊急対策のうち、歩行者通行帯の拡幅やエレベーターの新設など三つは完了いたしました。残る歩道橋の整備につきましてもこの 10 月に着手し、平成 18 年 3 月には完成する予定です。また、道路と鉄道の立体化に関する検討につきましても、新たな検討会を中心に国土交通省ならびに東京都のご指導をいただきながら、立体化の方法やまちづくりに関する技術的な検討を鋭意進めております。

さて、鉄道高架化に寄せる地元の思いはすでにご承知のことと存じますが、事故後、あらためて竹ノ塚駅前で開始した署名は 216,993 名に達しました。

鉄道高架化早期実現まで粘り強く運動を続けるため、平成 17 年 9 月 30 日には、地元区民で組織する「竹ノ塚駅鉄道高架化早期実現の会」、足立区関係の全会派の国会議員、都議会議員及び区議会議員で組織する「足立区議会鉄道高架化促進議員連盟」及び足立区が一つにまとまり、「竹ノ塚駅付近鉄道高架化促進連絡協議会」を結成いたしました。

また、足立区では、「竹の塚鉄道立体化資金積立基金」を設け、将来の鉄道高架の事業化に備えることといたしました。

竹ノ塚駅周辺は、足立区にとって北部の地域拠点であり、鉄道高架化に併せて都市機能の更新、地域商業の活性化を図っていきたいと考えております。

つきましては、216,993 名の署名者を代表して、竹ノ塚駅付近鉄道高架化促進連絡協議会役員から要請書を提出いたします。

あわせて、東武伊勢崎線竹ノ塚駅付近の鉄道高架化実現に向け、連続立体交差事業採択要件の拡充及び平成 18 年度連続立体交差事業調査費の採択など、ご支援いただきたくお願い申し上げます。

平成 17 年 12 月 20 日

竹ノ塚駅付近鉄道高架化促進連絡協議会会長

足立区長 鈴木 恒 年

国土交通大臣 北 側 一 雄 様

連続立体交差事業採択要件が拡充されました

平成17年12月20日午後、平成18年度国土交通省関係予算内示があり、連続立体交差事業採択要件の拡充が盛り込まれました。概要は以下のとおりです。

なお、このことにより、竹ノ塚駅付近の踏切は、現状のままで連続立体交差事業の採択要件を満たすこととなります。

1. 目的

現在、幹線道路の踏切を対象としている連続立体交差事業について、歩行者、自転車交通の多い生活道路の踏切を除却する連続立体交差事業を採択対象とすることにより、「開かずの踏切」をはじめとする踏切への対策を緊急かつ重点的に実施する。

(開かずの踏切：ピーク時1時間あたりの踏切遮断時間が40分以上の踏切)

2. 概要

連続立体交差事業の採択要件として、生活道路の歩行者ボトルネック踏切を1本以上含む事業を追加。

足立区竹の塚鉄道立体化資金積立基金を設置しました

竹ノ塚駅付近の鉄道立体化に係る財源を確保するため、60億円の基金を創設することが平成17年10月21日の区議会で議決されました。区は平成17年度補正予算案に50億円、平成18年度予算案に10億円を計上しています。

赤山街道の踏切に歩道橋が完成します

緊急対策である歩道橋が、まもなく完成します。この歩道橋には、自転車も載せられるエレベーターも設置されています。



竹の塚の高架化を求める主な経過

昭和55年 7月 7日 竹ノ塚駅南側踏切高架化の請願が区議会で採択される

昭和58年 11月 12日 東武竹ノ塚駅付近の鉄道高架化に関する要望書が区長宛に提出される

昭和58年 3月 15日 踏切事故発生 (16:50分頃、4名死傷)

4月 6日 竹ノ塚駅付近の鉄道立体化を求め、区が要望書、区議会が意見書を東京都に提出

4月 6日 竹ノ塚駅付近の鉄道高架化早期実現を求める署名活動開始

4月 7日 竹ノ塚駅付近の鉄道立体化を求め、地元代表が要請書を都、区に提出

4月 7日 竹ノ塚駅付近の鉄道立体化を求め、区が要望書、区議会が意見書、地元が要請書を国土交通省に提出

4月 15日 足立区議会鉄道高架化促進議員連盟発足

5月 20日 竹ノ塚駅鉄道高架化早期実現の会発足

9月 30日 竹ノ塚駅付近鉄道高架化促進連絡協議会発足

11月 30日 東京都に要望書を提出

12月 20日 国土交通省に要望書を提出

昭和63年 2月 7日 東武鉄道(株)に要望書を提出

2月 15日 東京地下鉄(株)に要望書を提出

まもなく踏切事故から1年が経過します

昨年3月15日に竹ノ塚駅南側の大踏切(第37号踏切)で発生した、あの痛ましい事故から、まもなく1年となります。事故で亡くなられた方のご冥福をお祈りするため、竹ノ塚駅付近鉄道高架化促進連絡協議会では3月15日午後4時50分より、現地にて黙祷、献花を行います。